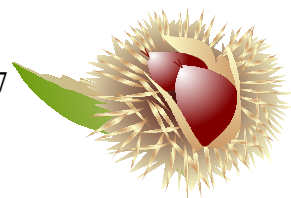




みなみ おぐにちやうりつみなみ おぐにちやうがつこう
南小国町立南小国中学校
れい わ ねん がつ にち きん
令和2年10月16日(金) No27

ぶん せき はさまたかふみ
文責 狭間卓史



「あらためて Challenge to Change」

13日(火)、後期始業式を行いました。この日は各学年と生徒会執行部からの計4人の代表が、後期に向けた意見発表をしてくれました。前期の反省をふまえて、後期が充実した時間になるようにしたいという意見でした。具体的には、南中ノートを活用した家庭学習に計画的に取り組むことや、部活動の中核として責任を果たしていきたいということ、上級生として目標とされるような姿を示すこと、そして受験を団体戦として臨み、一人一人の希望の進路を実現したい等の趣旨の意見発表でした。

具体的な目標を掲げ取り組もうとするやる気溢れる生徒の姿は何よりも嬉しいですし、職員もその姿に寄り添い、出来ることに挑む姿勢を大切にする後期でありたいと思っています。



しぎようしき ふうけい
【始業式の風景】

「嬉しい姿」

先週金曜日のことです。市原小学校の手嶋教頭先生から嬉しい電話をいただきました。手嶋教頭先生は毎朝小学校正門前の横断歩道で登校指導をしていらっしゃいます。その日、登校中の本校生徒が横断歩道にさしかかったのですが、なかなか渡ろうとせず、ずっと立ったままだったとのこと。その理由を尋ねられたところ、ちょうど反対方向から歩いてくる小学生の姿があり、その小学生がたどり着くのを待っていたとのこと。その横断歩道の信号は押しボタン式で、一度変わると次までかなりの時間を要するため、小学生がすぐに渡ることが出来るように待っていたとのことでした。

朝の慌ただしい時間にもかかわらず、周囲への気配りが出来る姿に、温かな気持ちになりました。

三年生の佐藤梓さん、爽やかな朝をありがとう。



こうしやまえ はな
【校舎前の花】

「いよいよ」

明日17日(土)は「南中文化の日」。この日に向けて生徒と職員はフル回転で準備に励んできました。(中には休日返上で取り組んでくれた生徒もいます。)今回の発表に際しても、当日はもちろんのこと、準備・練習の段階から新型コロナウイルスの感染防止対策を講じていくことが欠かせませんでした。当然のことながら、従来のプログラムや発表スタイルでは通用せず、プログラム自体、全てゼロから練り直してのことです。

「THREAD ～心をひとつに 光ある未来へ～」をテーマとする取り組みは、南中の今(生徒間)をつなぐとともに、これまで受け継いできた伝統(歴史)と、これから築いていく未来をつなぐ発表になるはずです。楽しみにしててください。